

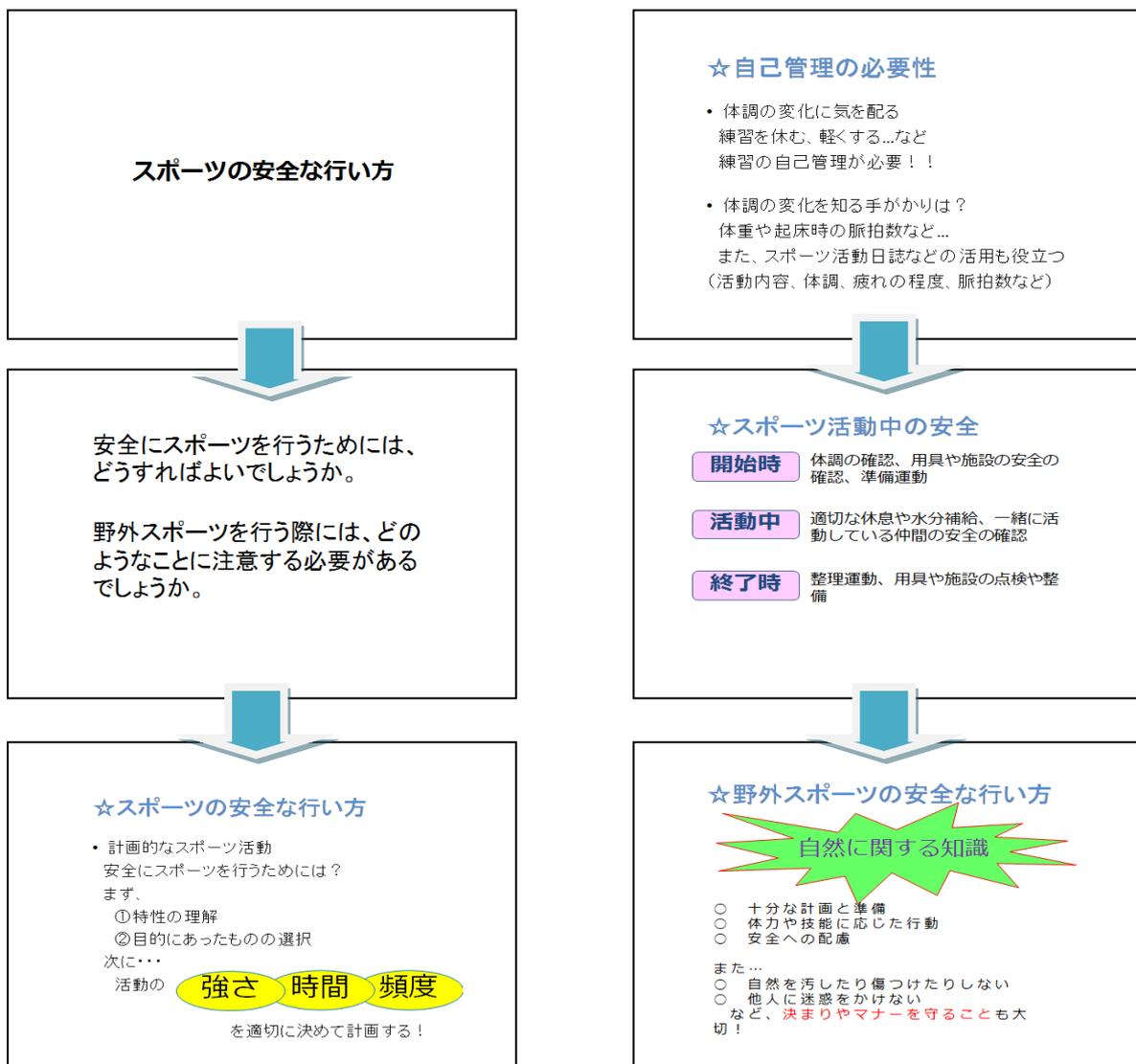
② 保健・体育理論の知識を活用した指導方法の工夫【保健・体育理論研究班】

ア 保健分野（第3学年）の単元計画の見直しと体育理論実践・検証

学習指導要領で保健分野の「改善の具体的事項」に、「自らの健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成する・・・知識を活用する学習活動を取り入れることなどの指導方法の工夫を行うものとする」とある。基礎的・基本的な知識を習得すること、知識を活用する学習活動により思考力・判断力等を育成することが必要とされている。また、学習内容を明確にした指導をすることが求められている。

保健・体育理論研究班では今年度、保健体育の教科書が変わったことで一昨年度作成した保健分野における「単元計画構造図（第3学年）」の見直しを図り、指導と評価の一本化を図り、生徒に分かりやすく、思考・判断力を身につけさせる授業が展開できるよう研究を進めてきた。特に、単元計画構造図内の授業の計画の想定箇所を新教科書とリンクした形で、導入の部分、発問や学習活動のイメージについて見直しを図った。

また、体育理論では、昨年度作成した体育理論単元計画構造図及びプレゼンテーション資料とワークシートを活用し、授業を行った。



イ 成果と課題

(ア) 成果

- 新しい教科書に対応した保健分野（第3学年）の単元計画構造図の見直しを図ることができ、指導案作成の際にさらに活用しやすい資料ができた。
- 研究班の班員で、保健分野及び体育理論での授業づくりについて、共通理解を深めることができた。

(イ) 課題

- 時間の関係上、第3学年のみの見直しとなったため、今後全学年の作成に当たっていく必要がある。
- 班員だけでなく、各地区各学校において提供した体育理論のプレゼンテーション・ワークシートの活用後の感想等の集約をし、改善見直しを図っていく必要がある。
- 体育理論や保健分野の授業において、生徒に知識やその知識を生かした実践力を身につけさせるために、どのような授業づくり（指導方法の工夫）を展開していくことが望ましいのか考えていく必要がある。